

よ まち つくる
結 いっこで 町 を 再生

上野のすまい
 (菊池 邸)

建設地 秋田県能代市字上野
 構造・階数 木造平建て
 建築床面積 148.22 m² (44.83坪)

活動の理念

「結い」を、我が二ツ井町の方言では、「結(よ)いっこ」と言う。
 金銭授受を伴わない、地域による助け合いの慣行で「皆で助け合いながら暮らそう」という地域体の発露である。

しかし、現代は、社会情勢も変わり地域との結びつきが少なくなり、近隣関係に無関心な社会環境となっている。

昔のような「結いっこ」を取り戻すのは困難なので、現代型「結(よ)いっこ」運動を掲げ、すまい造りを通してまちの再生に貢献する。

私たちの想い

地域の「もの・ひと・きずな」を活用するのは、地域産業の活性化や地域経済の向上、そして、その地域の伝統・文化や、技の育成・継承にも貢献することとなる。

永続的に持続可能な地域循環型社会の形成には、地場産業の向上や活性化が、重要な要因であることは明白であり、私たちは、これからも地域の発展に貢献したい。

大手ハウスメーカーなどの進出も久しいが、個々の技術や意識の向上を図りながら邁進し続ければ、地域工務店の発展や再生は可能である。

地域に根ざした、また、環境やまちづくりに配慮した「すまい造り」ゆえに、「ひと」が、「もの」が、「きずな」が、活動活躍し始め、自ずと心豊かなまちづくりにも繋がる。

このような活動を始めて20年ほどになるが、まだまだ足踏み状態である。
 だが、将来は、かならずやこの地域が、「再生・発展」することを想いながら私達は運動し続けている。

主な協力業者名 (担当者)			
設計・工事監理	アトリエ あすか (所長: 田中勝昭)	木製建具工事	マルトモ木工所 (代表: 小笠原・田中)
建設工事	石山工務所 代表: 石山勝幸 (棟梁: 石山勝重) (大工: 藤田・成田)	塗装工事	協新塗装(株) (代表: 野呂文彦)
基礎工事	金野ブロック (代表: 金野久昭)	内装工事	アキバヤシ内装 (代表: 秋林鉄美)
屋根工事	越前谷板金 (代表: 越前谷満)	電気設備工事	保坂電気工業(株) (担当: 小林義憲)
鋼製建具工事	(株)能代三協カシセンター (代表: 水木秀郎)	給排水工事	山二施設工業(株)能代営業所 (担当: 小枝信・佐藤)

『もの・ひと・きずな』がキーワード

現代型「結(よ)いっこ」

もの(建設資材)

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1 天然木材を使う。 | 地場産業の活性化 |
| 2 曲木や節材を使いこなす。 | 山の環境問題に寄与 |
| 3 木工事や建具工事を増やす。 | 林材業・匠の技の継承と向上 |

ひと(造り手)

- | | |
|-------------|---------------|
| 1 地元の職人を使う。 | 匠の技を伝承と担い手の育成 |
| 2 地元の会社で作る。 | 地場の会社の向上と発展 |

きずな(地域の協力)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1 地場企業製品を採用する。 | 企業間の向上で協力体制の強化 |
| 2 地域企業を活かす。 | 地域企業の活性化に貢献 |

もの(建設資材)	ひと(造り手)	きずな(地域の協力)
地元の自然素材を使う。 ・地場産業の活性化を図る。 ・生産・運搬にかかるCO ₂ 排出量を削減する。地球温暖化。	地場の職人を使う。 ・気候風土を生かす。 ・伝統文化を継承する。	地元の人が協力する。 ・地元の人達の絆を強める。 ・自然を保全し街並の調和を図る。
 <p>共有林の下刈り作業に参加</p>	 <p>建築の専門家に伝統構法の説明</p>	 <p>近隣の協力による建方作業</p>
 <p>木材を吟味する住まい手</p>	 <p>県立大学の学生に木組みを説明</p>	 <p>祝上棟の餅つきで近隣にお礼</p>
 <p>特産である天然ゼオライトの研究</p>	 <p>伝統構法を視察に来る男鹿大工組合</p>	 <p>町並の拠点となる公営住宅</p>